

411

^{99m}Tc-HM-PAO Super Dynamic SPECTによる

静注後超早期脳血流の画像化

外山 宏、前田寿登、竹下 元、柴田香織、野村昌代、
竹内 昭、古賀佑彦 (藤田保健衛生大・放)

脳内分布が決定する前の静注後超早期にダイナミック SPECT を行い、より真の脳血流に近い画像化を試みた。装置はHEADTOMEを用いた。^{99m}Tc-HM-PAOを静注開始30秒後12秒/フレームで10フレームのダイナミック SPECTを施行し、静注10分後にスタティック SPECTを施行し比較した。6例の主幹部脳動脈閉塞症中5例において、スタティックよりも低血流病変のコントラストが良好であった。スタティックで高集積を認めた4例の脳梗塞亜急性期の内で、ダイナミックで2例は高集積、2例は逆に低集積を示した。ダイナミックSPECTは、脳からの逆拡散と、水溶性の代謝産物の蓄積の影響の少ない、真の脳血流に近い画像として、臨床的に有用と考えられた。